

2021年度 第1四半期決算説明会(電話会議) 主な質疑応答(要旨)

開催日：2021年8月6日(金)

Q：単体建設事業における受注時採算の動向は？

A：土木は需要環境が堅調であり、大きな変動がなかった。建築は前年度後半から低下傾向となったが、第1四半期の受注時利益率は、前年度通期と比較して横ばいであり、厳しい競争環境が継続している。

Q：単体建築事業における受注動向は？

A：製造業では、製薬関連や半導体関連工事を受注し、非製造業では、発電所関連や大型オフィスビル工事を受注している。

Q：第1四半期の単体土木事業の利益率が前年同期から低下した要因は？

A：損益改善が進んだ工事が少なかったことが主因。大きく損益が悪化した工事はない。期末に向けて、竣工工事が増加していくことから、利益率は改善していくと見込んでいる。

2021年度 第1四半期決算説明会（電話会議）

主な質疑応答（要旨）

開催日：2021年8月6日（金）

Q：単体建築事業の利益率の見通しは？

A：今年度は竣工工事が少ないため、前年度実績に比べ利益率が下がるという期首時点の予想に変化はない。第1四半期の利益率は通期予想と同水準であり、堅調に推移していると考えている。

Q：海外関係会社の通期予想の見通しは？

A：北米における流通倉庫開発事業が順調に推移したため、海外関係会社の各段階利益は通期予想を既に上回っているが、新型コロナウイルス感染症が再拡大している東南アジアの状況に注視が必要であるため、通期予想を修正していない。

Q：北米における第1四半期の流通倉庫の売却は期首計画どおりか？

A：Core5において、今年度中の売却を計画していた7件の流通倉庫を第1四半期に売却した。第2四半期以降も売却予定はあるが、第1四半期ほどの件数は予定していない。

2021年度 第1四半期決算説明会(電話会議) 主な質疑応答(要旨)

開催日：2021年8月6日(金)

Q：北米の流通倉庫開発事業は来期以降も同程度の売却を期待できるのか？

A：具体的な売却予定は回答できないが、開発・運営中案件は32件あり、今後も投資・売却・再投資のサイクルを続けていく方針である。

Q：国内関係会社の業績動向や今後の見通しは？

A：ホテル事業を行っている国内関係会社は厳しい状況であるが、建設系の国内関係会社の業績は堅調に推移している。合材販売事業を行っている鹿島道路に関しては、原材料価格の上昇に注視が必要だが、国内関係会社全体としては通期予想の達成は可能であると考えている。

Q：自己株式取得の方針は？今年度中に追加取得する可能性はあるか？

A：3年連続して自己株式を取得しており、株主還元の一環として、業績や財務状況、経営環境等を勘案しつつ、可能な限り継続したいと考えている。追加取得については、業績等を見極める必要があるため、現時点では回答できない。